

平成31年4月7日  
執行

# 徳島県議会議員一般選挙選挙公報

(板野選挙区)

徳島県選挙管理委員会

## 弱者と共に歩み 豊かな自然を守り 心優しい人間社会を!



無所属

うすき

春夫

(七十一才)

### 決意

昨今の日本は災害列島と化し、自然の前に人間の無力さを感じ知らされる、悲しい出来事の連続でした。また、増加する幼児の虐待、老老介護、独居者の孤独死、拡大する貧富格差・地域間格差などがあり、増え続ける医療費・社会保障費の抑制策が、やがて高齢者・弱者を襲うことは想像に難くない、病める者・弱者は更に困窮の淵に追いやられるでしょう。こんな社会を「何とかしたい」と、十八年間議員活動を続けて参りましたが、何ができたのか、自分の知力・体力の限り活動してきたか、反省と悔いの念に苛まれる日々でした。今日までの皆様の「ご指導」「ご支援」に感謝しつつ、今一度、私の全能力・全人格・全生活を賭けて、「弱者と共に歩む」決意を、させていただきます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 〈私のお約束〉

#### 自然災害対策に全力を挙げます

一、学校、住宅、公共施設の耐震化を図り、子どもたちの安全・安心を守り、住民の誰もが安心して暮らせる街づくりを進めます。  
二、台風、豪雨から住民を守るため、とりわけ無堤防地帯を無くす取組を強め、洪水から住民の生命・財産を守ります。

#### 貧富・地域間・男女格差など、あらゆる格差の是正に努めます

一、雇用の場における、正規非正規間の差別格差を無くし、賃金労働条件の平等を追求し、生活水準の格差解消運動の先頭に立ちます。  
二、無医村、シャッター通り、買物難民等々、地域によって多くの課題が横たわり、地域間格差は拡大の一方です。一歩一歩着実に格差縮小に向けて頑張ります。

#### 憲法を守り戦争に反対し、子どもに平和な未来を残します

一、戦後七十年余、一度も戦火に巻き込まれず現在の私たちがあります。今日の日本社会にもたらした平和憲法の役割は大きく、特に憲法9条を大切にまいります。

#### 弱者にやさしく、福祉の心で街づくりを進めます

一、公共交通を守り、高齢者、障がい者、子どもたちが何不自由なく通勤、通院、通学できる、弱者にやさしい社会を目指します。  
二、学校、各種公共施設、道路などを、高齢者も障がい者も子どもたちも、誰もが安心して利用できるよう、ソフト・ハード両面のバリアフリー化を追求します。

#### あらゆる差別を無くし、人権尊重社会の実現を目指します

一、人種差別、部落差別、男女差別など、いれなき差別を無くす運動を皆様とともに進めます。  
二、地域や職場のセクシャルハラスメント、パワーハラスメントを無くす地道な取組を進め、人権尊重社会の実現に向けて頑張ります。

### 略歴

一九四七年 旧美馬郡一宇村生まれ  
一九六三年 徳島バス株式会社入社  
一九七四～七六年 県立城南高等学校通信制普通科に在籍  
一九八一年 徳島バス労働組合執行委員長  
二〇〇一年 県議会議員初当選  
二〇一五年 県議会議員五選  
現在 徳島バス労働組合特別執行委員

## 今こそ!!「あたたかな政治」を一步前へ

■私は、「板野郡の未来」「徳島の未来」を、明るく確かなものにするため、5つのお約束を致します。

### ①「未来の人」へ投資する

1つ目に、「未来の人」へ投資することに関しては、結婚・出産・進学・就職などのライフステージに応じた効果的な支援を行うとともに、子育て環境の充実を図ります。

### ②「未来の仕事」を創る

2つ目に、「未来の仕事」を創ることに限らず、若者が集い事業を起こせる環境を整備するとともに、藍をはじめ伝統産業の新感覚でのビジネス化を図ります。

### ③「未来の食」を育む

3つ目に、「未来の食」を育むことに関しては、ICTを活用したスマート農業の展開や、農林水産物海外戦略の強化、そして、それを担う農業者・後継者の育成を図っていきます。

### ④「未来の暮らし」を守る

4つ目に、「未来の暮らし」を守ることに限らず、高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で、生きがいを持って健やかに暮らせるよう、支え合いによる「地域包括ケアシステム」の確立を図ります。

### ⑤「未来の安心」を築く

5つ目の「未来の安心」を築くことに関しては、気候変動により近年多発する豪雨災害や、いつ起こってもおかしくない巨大地震に備えるため、強くてしなやかな県土強靱化に向けた、積極的な予算確保を図ります。

人口10万人、豊かな平野とそこから生み出される農産物、旧吉野川、豊かな漁場、発達した交通ネットワーク、優れた伝統産業・文化遺産・観光資源、商都としての活力、住宅都市としての賑わい。あらゆる可能性と魅力の宝庫「板野郡」の更なる飛躍に向けて、皆様とともに「板野郡に活力をもたらす取り組み」に、全力を傾けてまいります。



自由民主党公認

しんがい  
ひろし  
浩司

## ほっとけん! 立川のりひろ 5つの基本政策

3世代が充実した生活と安全で安心して暮らせる健康な町づくりを目指します

医療・福祉・くらし  
～くらしの安心と安全～

子育て・教育  
～子供の命と未来を守る～

若者の政治参加  
～明るい未来へ～

防災・減災  
～災害に強い街づくり～

産業・観光振興  
～未来につながる地域活性化～

昭和55年6月1日 板野郡藍住町生まれ  
町立藍住東中学校 / 県立城東高等学校 / 中京大学経済学部 卒業  
自由民主党 徳島県板野郡第二支部 支部長  
自由民主党 徳島県支部連合会 とくしま志政塾 第1期生・第2期生  
藍住町立中央保育所 PTA 会長 徳島県左官業協会 事務局長  
全国左官タイル塗装業国民健康保険組合 徳島県支部 事務局長

# 38歳

情熱で変える 徳島の未来



自民党公認

たてかわ  
のりひろ  
立川のりひろ

この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、徳島県議会の議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例第4条第2項の規定に基づき、くじで定められたものです。

平成31年4月7日  
執行

# 徳島県議会議員一般選挙選挙公報

(板野選挙区)

徳島県選挙管理委員会

## 未来のために、今できるすべてを!

~All for the future~

### 01 地域の発展のために!

地域の発展には農商工業の連携による経済の活性化が必要です。

### 02 共生社会の実現のために!

相互理解ですべての人が暮らしやすいまちづくりを目指します。

### 03 いのちと文化を守るために!

災害に強いインフラ整備でとくしまの防災力・減災力を高めます。

### 04 地域の未来のために!

将来を担う子どもたちの教育の「質」向上を目指します。

### まっすぐ、一直線。

#### プロフィール

1971年、北島町にて北島勝也の長男として出生。国立阿南工業高等専門学校卒業。1992年、県内建設コンサルタント会社に入社。1997年、株式会社北島組へ入社後、2006年、高知工科大学大学院へ。2008年、同大学院工学研究科基盤工学専攻修士課程修了。

#### ●おもな経歴

全国商工会青年部連合会 理事  
鳴門教育大学附属小学校はくみ保護者会 会長  
自由民主党徳島県支部連合会青年局 局長

#### ●現在

自由民主党北島町支部 支部長  
自由民主党徳島県支部連合会青年局 顧問  
北島町商工会 理事  
全国国立大学附属学校PTA連合会 理事  
北島ライオンズクラブ会員



自由民主党公認  
**北島一人**  
きたじま かずと

記念オケ疑惑にフタをする 現知事となれあう自民と対決

消費税10%増税中止に安倍改憲許さない 安倍政治に審判を

## 庶民の声、女性の願いまっすぐ県政にとどける



日本共産党  
**たかはら くるみ**  
四国女子短期大学卒。教師生活40年。板野町まちづくり女性の会副会長、板野町社会福祉協議会評議員を歴任

#### 「まっすぐ」

板野郡の県議は、自民3、無所属1の4人、自民が多すぎます。板野郡に、安倍政治と対決し、県政にしっかりとモノをいう県議が必要ではないでしょうか。

私は、みなさんの声、女性の願いを県政にまっすぐとどけます。教師生活40年の経験を生かし、くらしと平和をまもり、子どもたちに平和で豊かな未来を手渡すために全力を尽くします。

#### 3人↓4人で発言力が大幅アップ

党県議団は、子どもの医療費無料化を中学卒業までひろげ、木造住宅の耐震化補助も110万円を実現。さらに、日本共産党は、県民と力をあわせ、記念オケ疑惑を徹底追及してきました。日本共産党が4議席になれば、議案提案権がえられ、発言力も存在感もぐんとアップします。

#### お約束 県予算、ためこみ金をくらし応援にきりかえます

- 公費1兆円投入で、国保税をサラリーマン健保なみに引き下げ
- 子どもの医療費を高校卒業まで無料に。給食費と保育料の無料化
- 住宅リフォーム助成制度を県でつくる
- 家族農業への支援など、農林漁業の振興
- 木造住宅の耐震化補助を150万円に
- 「記念オケ疑惑」の真相究明
- 消費税10%増税中止。安倍改憲ノー

教師生活40年の経験いかし子育て充実  
あなたの1票を **たかはらくるみ**へ

ブログ takahara-jcp.com

### 喝\* しゃんとせんかい! 県議会

## 県政に「活を入れる」仕事を、私に任せて下さい。



元県議 無所属  
**扶川あつし**  
扶川敦 無料生活相談所長

「人口減で地域が寂れないよう、若者の職場を作り子育てを応援してほしい。年金が少ないのに保険料や医療費の負担が増えて、生活が苦しい」等々。切実な県民の声です。そして、人口減も負担増も、天災ではなく、誤った政策の結果ですから、修正可能です。

問題を解決するには、行政の専門家である県職員が、県民と共に考え、智慧を絞って一生懸命働く必要があります。それを率いるのが知事であり、知事の仕事を時に促し、時に行き過ぎを正して、住民目線で点検するのが県議会の仕事です。

ところが、県議会は余りにもだらしない。点検どころか、知事のいいなり。その典型が知事の失政「とくしま記念オケストラ」の無駄遣い問題です。野党議員の質問を制限し、参考人の招致に反対するなど、職務怠慢としか言いようがありません。

選挙の時には、誰もが耳触りの良い公約を並べるけれども、委員会では、ほとんど発言しない議員もいます。

私は、下野後六年間、生活相談や全国各地の被災地支援による「人助け」の活動と、記念オケのハイヤー代問題を含め、いくつも住民監査請求と訴訟を提起し、「世直し」の政治活動に取り組んできました。しかし、法や制度に不備があると、裁判では埒が明けません。議会に戻って議論し、制度の不備を正したい。

「無駄を削って暮らしに回せ」という声を私に託して、なれあい県政に活を入れさせてください。